

## 決議

農業・農村は国の基<sup>もと</sup>であり、安全・安心な食料を安定的に供給するとともに、豊かな国土や自然環境を形成し、潤いのある国民生活を支えてきた。これも、先人達による農地や農業用水など地域資源の維持向上に向けた献身的な努力の賜物であり、農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。

しかしながら、人口減少が進む農村では、農業従事者の高齢化や担い手不足などにより、農地・農業用水利施設等の管理や営農の継続への影響に加え、激甚化する自然災害への対応の強化など、多くの課題に直面している。

農業を持続的に発展させ、次世代の担い手に確実に引き継ぐためには、農地の集積・集約、大区画化、汎用化等の農地整備や将来を見越した農業水利施設等の維持・更新が不可欠である。加えて、大規模地震や頻発する豪雨災害に対し、国民の生命と財産を守るためにも、農村地域の防災・減災対策の推進が急務である。

このため、国においてはこれまでの改革に加えて、新たに「農業生産基盤強化プログラム」を策定し、幅広く生産基盤の強化を図り、強い農業・農村の構築に向けた政策を展開しているところである。

また、県においては「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」に基づき、国の施策を積極的に活用しつつ、我が国の食料供給基地の形成に向け、攻めの農業に向けた戦略的な取り組みを展開することとしている。

以上を踏まえ、水土里ネット鹿児島は、鹿児島県の農業・農村の持続的な発展を目指して、これまで培ってきた経験と技術を活用し、農業農村整備事業を強力に推進するため、水土里ネット関係者の総力を結集し、左記事項の実現を、第六十二回通常総会の名において決議する。

### 記

- 一 農業の競争力強化の実現に向けた、農地の大区画化・汎用化の積極的な推進
- 一 高収益畑作経営の展開を図るための畑地かんがい施設整備の推進
- 一 農業水利施設の長寿命化対策、耐震化や洪水被害防止等の防災・減災対策の推進
- 一 中山間地域の多面的機能の維持・発揮のための総合的振興の推進
- 一 地域資源の良好な保全管理に向けた水土里サークル活動の積極的な推進
- 一 改正土地改良法を踏まえた、土地改良区の運営基盤強化の着実な推進

右決議する。

令和二年三月十九日

水土里ネット鹿児島（鹿児島県土地改良事業団体連合会）

第六十二回通常総会